

海洋保護区政策からみた 福岡県宗像沖ノ島と関連遺産群の 世界遺産指定

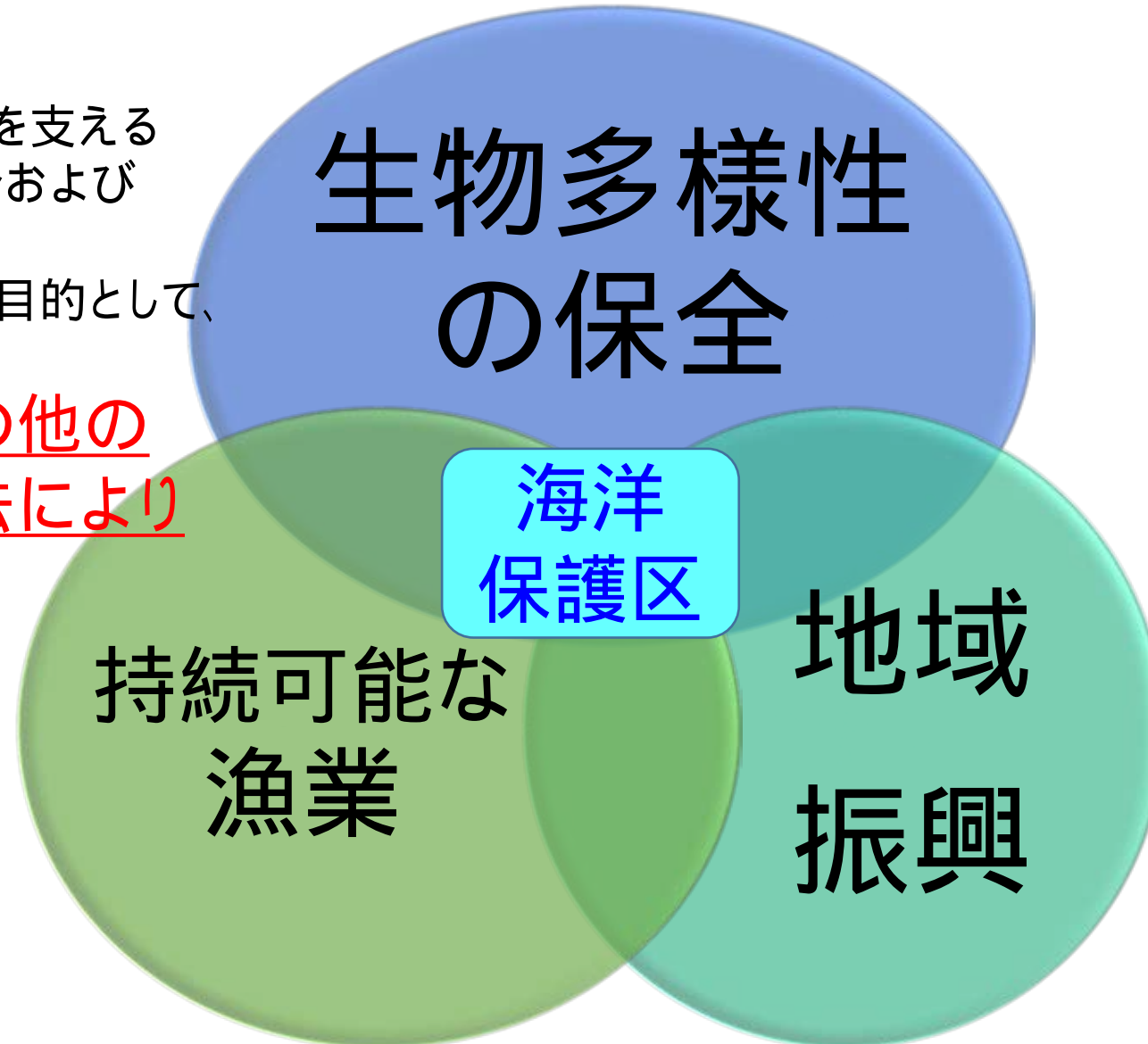
清野聡子

九州大学大学院工学研究院環境社会部門

海洋保護区 Marine Protected Area(MPA)

海洋生態系の
健全な構造と機能を支える
生物多様性の保全および
生態系サービスの
持続可能な利用を目的として、
利用形態を考慮し、

法律又はその他の
効果的な手法により
管理される
明確に
特定された
区域。



● 海洋保護区の国際基準との対応

人間の立入を制限 sanctuary

聖地 sacred place

持続可能な利用 sustainable use

修復を目指す restoration

● 生物多様性の保全

伝統的知識の保護

参加的意思決定

自然と人の
関係性

海の世界文化

世界文化遺産 2017

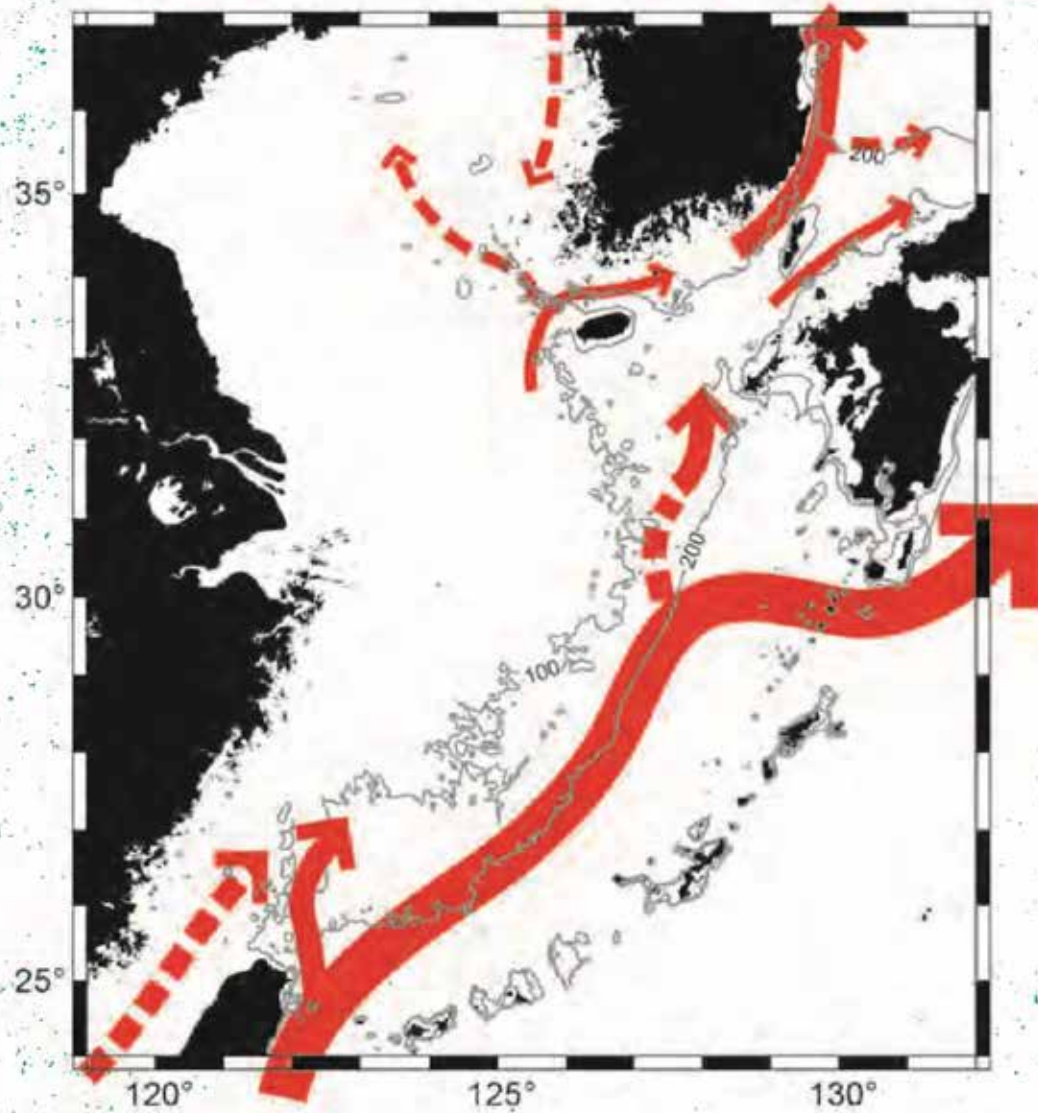
福岡県 宗像市 沖ノ島と関連遺産群



原則的に立入禁止(宗像大社、特定の漁業者のみ)
「サンクチュアリ」海洋保護区カテゴリー



清野聡子
(九州大学大学院
工学研究院環境社会部門)



対馬暖流の流路。黒潮から分岐した暖かい海水は、対馬海峡に溢れるように流入し、日本海へと北上していく。
(図作成：水産大学校 滝川哲太郎准教授)

地域文化の 「漂着物学」

平成28年度夏の企画展

むなかたの漂着物展

海流のチカラ



会場 海の道むなかた館企画展示ブース

会期 平成28年7月20日(水)～9月4日(日)

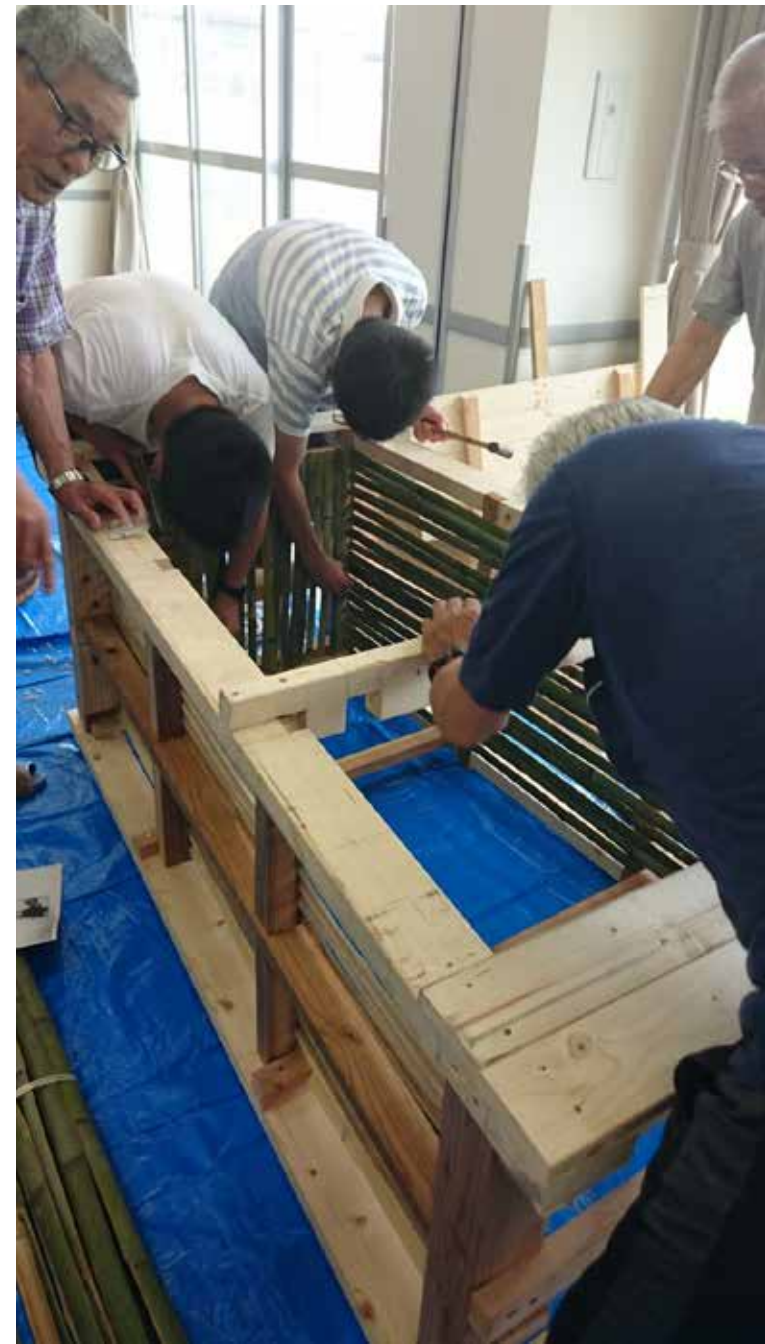
入場 無料 主催 宗像市・宗像市教育委員会

お問合わせ 海の道むなかた館 〒811-3504 福岡県宗像市文田588番地
TEL0940-62-2600 FAX0940-62-2601

海と森の文化の復活！

国の有形民俗文化財 「玄界灘の漁撈用具及び 船大工用具」

- ・漁師さんは大工さんでもある！
- ・漁村の裏山に、竹、木が常時在庫している！



IUCNカテゴリ			
I	a	厳正自然保護区 (厳格な保護 / 主に科学的研究)	
	b	原生自然保護区 (厳格な保護 / 主に原生自然の保護)	沖ノ島
II		国立公園 (主に生態系の保全と保護)	
III		天然記念物 (主に特定の自然の特徴を保全)	沖ノ島
IV		生息地/種の管理区域 (主に人間の管理介入を通じた保全)	鎮守の森
V		陸上/海洋景観保護区 (主に陸上・海洋景観の保全及びレクリエーション)	世界遺産登録審査機関からのコメント (風力発電ファームと沿岸景観、クルーズ船管理)
VI		持続的資源利用保護区 (主に資源の持続可能な利用)	漁業

漁村の海の
恵みへの祈り
(宗像鐘崎 えびす神社)

草食性巻貝(アワビ)
+ 肉食性巻貝(ホラガイ)
+ 石



宗像 沖ノ島 対馬 釜山が
直線上に並ぶ



九州西部 海洋保護区 ネットワーク

九州西部海域の
海の自然・文化の
保全・活用
ホットスポット
↓
海洋保護区
ネットワーク

西海五島国立公園活動？
世界遺産2018？
国指定名勝
ジオパーク推進



国境付近の海洋保護区ネットワークの可能性

- ・ 日常的に国際マターがある
- ・ 多分野・多言語に既に適応
- ・ 「世界遺産」登録活動は「地方自治体が」「普遍的価値」を考える機会
- ・ その維持を前提とした保全により「地域と国際を結ぶ」
- ・ 海洋保護区自体が包括的な取り組み
- ・ 国際的視野にもとづく地域の文化財保存、水産資源、海岸保全
- ・ 積極的に統合化した海域管理計画への展開が可能